

2020年5月26日

日本クアンタムストレージ株式会社

## クアンタム、StorNext ソフトウェア、クラウド・コンテンツの アクセス性およびデータ取得スピードを向上

-- 新たなハイブリッド・クラウド・ワークフローを実現する StorNext の自己記述型オブジェクト --  
クラウドとオブジェクト・ストア間のパフォーマンスを向上させるマルチスレッドの PUT/GET 操作、  
AWS Deep Glacier、耐久性の高いオンプレミス・テープ・アーカイブのサポートを追加

日本クアンタムストレージ株式会社（東京都港区、以下、クアンタム）は、実績ある StorNext<sup>®</sup>ファイル・システムとデータ管理ソフトウェアの新たな進歩を発表しました。これにより、クラウドとオブジェクト・ストアをベースとしたストレージ・ソリューションの読み取り/書き込み速度を大幅に向上させ、クラウド・コンテンツのアクセス性を向上させます。新しい StorNext ソフトウェアの機能はハイブリッドクラウドおよびマルチクラウド・ストレージのユースケースを実現し、メディア&エンターテインメントをはじめ、ゲノミクス、学術調査、ビデオ監視、石油・ガス、政府のセキュリティなど、データ集約型の環境の柔軟性を向上します。クアンタムは、2020年5月12日～14日開催のバーチャル・ビデオ・イベント [VirtualQ | NAB](#) にて、StorNext 6.4 ソフトウェアを発表しました。最新バージョンの StorNext ソフトウェアは、クアンタムのソフトウェア定義製品のポートフォリオ戦略を推進し、ビデオなどの非構造化データの管理におけるクアンタムのリーダーシップを強化します。

### <NEW : 自己記述型オブジェクト機能を使用してよりクラウド・コンテンツのアクセス性を向上>

StorNext 6.4 ソフトウェアには自己記述型オブジェクト機能が組み込まれているため、クラウド・コンテンツへのアクセスが容易になり、新たなハイブリッド・クラウド・ワークフローの実現が可能になります。クライアントが StorNext ファイル・システムにファイルを書き込むと、ポリシーに基づいて StorNext 6.4 ソフトウェアがパブリックまたはプライベート・クラウドにファイルをコピーします。追加のオブジェクト・メタデータを含めることもできます。新しい拡張メタデータを活用することで、StorNext 以外のソフトウェア・クライアントやクラウド内のプロセスからオブジェクトに直接アクセスできます。

### <大型オブジェクトデータのリトリーブを高速化>

マルチスレッドの PUT/GET 操作は、大型オブジェクトデータのストア処理とクラウドからのリトリーブ処理を高速にします。StorNext 6.4 ソフトウェアを使用すると、オブジェクトのサイズなどの要因に応じて、5~7 倍のパフォーマンス向上が期待できます。この機能は、単一ストリーム・オブジェクトのパフォーマンスが制限されている場合に、パフォーマンスを向上します。

### <StorNext 6.4 のその他の注目すべき機能>

- **StorNext ダイナミック・ライブラリ・プーリング(DLP) :**

この機能により、大規模テープ・アーカイブの復元性が向上し、Quantum Scalar® i6 テープ・ライブラリなどのライブラリ装置のスケールアウト・テープを含む複数のライブラリを使用して、パフォーマンスと冗長性を向上させます。また、ファイル・ストアを別のライブラリにローテーションして、可用性を向上します。

- **AWS Glacier Deep Archive サービスのサポート :**

Quantum StorNext 6.4 ソフトウェアは、Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloud Platform などと StorNext の堅牢な統合に、Amazon Glacier™ Deep Archive のサポートを追加します。

### <支持表明>

Coughlin Associates 社 社長の Tom Coughlin 氏は次のように述べています。「Quantum の StorNext ファイル・システムは、フラッシュベースのドライブ、高解像度のワークフロー、複数のワークストリームのパフォーマンスを最大化できるため、メディア&エンターテインメント業界で広く採用されています。StorNext ファイル・システムは、ハイブリッドおよびマルチクラウド・ストレージ環境のアクセス性を高めることで、メディア&エンターテインメントのワークフローを可能にするツールとして、進化し続けています。」

クアンタムのプライマリ・ストレージ担当バイス・プレジデント兼ジェネラル・マネージャーの Ed Fiore は次のように述べています。「私たちは StorNext ファイル・システムの革新と機能強化のために、お客様と緊密に連携しています。お客様がリモートワークを余儀なくされている現状においては、オンプレミスとクラウドの両方のデータセンター間でコンテンツを移動できる柔軟性が不可欠です。この最新バージョンの StorNext ソフトウェアは、コンテンツをアーカイブしてクラウドでアクセスするための新しい方法を追加し、オンプレミスとクラウド間のシームレスな橋渡しを実現するためのステップとなります。」

### その他資料

- Quantum StorNext ファイル・システム・ソフトウェアについての詳細 :  
<https://www.quantum.com/en/products/file-system/stornext-6/>
- 電子書籍『StorNext: The Modern File System that Can Supercharge Your Media Workflows』のダウンロード : [https://landing.quantum.com/SN-E-Book.html?utm\\_source=quantum&utm\\_medium=quantum&utm\\_campaign=supercharge\\_media\\_workflow\\_ebook](https://landing.quantum.com/SN-E-Book.html?utm_source=quantum&utm_medium=quantum&utm_campaign=supercharge_media_workflow_ebook)

## クアンタムについて

クアンタムの技術とサービスは、お客様のデジタル・コンテンツのキャプチャ、作成、共有を支援し、長期にわたって保存および保護します。データ・ライフサイクルのあらゆる段階に最適なソリューションを搭載したクアンタムのプラットフォームは、高解像度ビデオ、画像、産業用 IoT に、最速のパフォーマンスを提供します。これが、世界中の大手エンターテインメント企業、プロスポーツチーム、研究機関、政府機関、大企業、クラウド・プロバイダーがクアンタムで世界を幸福に、安全に、スマートにしている理由です。その方法については

[www.quantum.com/jp](http://www.quantum.com/jp) をご覧ください。

## お問い合わせ

日本クアンタムストレージ株式会社 (<https://www.quantum.com/jp/>)

email: [japan\\_info@quantum.com](mailto:japan_info@quantum.com)

Tel: 03-5786-0086 (代表)